

ごみかんよりお知らせ

リニューアルしたごみと・SUNも7号目になりました。

今号には、総会に代えて2017年度の活動報告と会計報告を同封しています。

2017年度は「ごみかん丸」の新たな出航の一年でした。何とかやってこられました。ごみと・SUNの購読で支えてくださっている会員さんのまわりに、ごみの活動に熱心な方がおられたら、ぜひ入会(購読)をお誘いしていただけませんか? または、「クリーンむさしのを推進する会」さんのように、ごみと・SUNを資料としてまとめて購読して下さる市民団体がいらっしゃったら大変助かります。今号は20周年に寄せられた会員さんのコメントに、うるうるしながらの編集、校正作業となりました。あ〜がんばってよかったです! また会費納入と共に、大勢の会員さんがカンパを振り込んでくださっています。心からお礼申し上げます。(E)



第10回

『生ごみリサイクル交流集会 in 多摩2018』

根気のいるリサイクル活動ですが、着実に成果が出ています。事業者と市民の取組みを伺い交流します。関心のある方をお誘いのうえ、どうぞご予約ください。

日時：6月9日(土) 13:30~16:30

会場：国分寺労政会館 第3会議室

参加費：500円

*セブン&アイ総務部資源リサイクル 藤乗照幸さん
「食品残渣の循環利用」

*日本フードエコロジーセンター代表取締役 高橋巧一さん
「食品廃棄物の飼料化」

*環境を考え行動する会 天野悦子さん
「ダンボールコンポストの普及活動」

*八王子市生ごみリサイクルリーダー 赤木省三さん
「ダンボールコンポストの普及活動」

*ひの・まちの生ごみを考える会 佐藤美千代さん
「幼稚園での生ごみによる野菜作り」

*このごみや記

皆さんにご協力いただいたお祝いのメッセージに添えるカットを描くために、処分場の写真などを検索しました。ついでにパソコンの地図アプリで、多摩地域の最終処分場である谷戸沢処分場や二ツ塚処分場を探し、航空写真に切り替え、しばらく見入ってしまいました。(私は地図と航空写真が大好きなんです!)

奥多摩の緑の山を大きくめぐって作られたふたつの最終処分場…。「谷戸沢と二ツ塚はこんなに近かったんだ」「東京都の奥の方というイメージだけれど、むしろ都の中心に近いじゃないの」「谷戸沢は『自然の復元が進んでいる』って言うけど、まだまだはつきり傷跡が残っているなあ」…などなど、改めていろいろと考えさせられました。

谷戸沢処分場は開場した昭和59年から、14年間でいっぱいになりました。平成10年に代わって埋め立てし始めた二ツ塚処分場は、20年経ってまだ半分弱の埋め立てで済んでいます。というのも多摩の自治体のほとんどがプラごみのリサイクルや、焼却灰のエコセメント化でいろいろ問題はあっても埋立ゼロにしているからで、これも20年前には考えられなかったことです。でも、山をごみで痛めつけた私たちに、今度は海に流れ出したプラスチック包装の問題が突きつけられています。ごみかんの仕事はまだいっぱいありそうです。

「下水道への紙おむツ受入実現に向けた検討会」へ 要望書を提出しました

国土交通省は、使用済み紙おむつを粉砕して下水道に流すことを検討するため、上記の検討会を設置し、今後5年間で実用化に向けたガイドラインをまとめる予定です。

これに対し、ごみ・環境ビジョン21では反対の意思表示を要望書としてまとめ、提出しました。(ごみかんのホームページでご覧ください)

「介護や育児の負担を減らすため」なのだそうですが、負担を減らすためにはもっと別な政策があるでしょうに…。マイクロプラスチック問題が世界的な課題となっている中で、大部分がプラスチックでできている紙おむつを下水道へ流すことなどともないことです。ぜひ声をあげ、この動きを注視していきましょう。

ごみ・環境ビジョン21



年会費 = 個人会員 3,000円 団体会員 6,000円
賛助会員 10,000円(一口)

郵便振替 □座名：ごみ・環境ビジョン21
□座番号：00130-1-603521

◆ごみと・SUNのお受け取り方法は

- ①ヤマト運輸のDM便
- ②メール添付でのPDF配信 の二つがあります。
②をご希望の方はメールにてお申し込みください。

◆振替用紙にはご住所・お名前・お電話番号(FAX)をご記入ください。また、住所変更があった場合はお知らせください。DM便は移転先へ転送されませんので戻ってきてしまいます。

◆記事を転載する場合はご連絡ください。